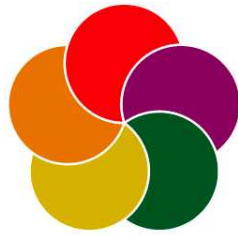


千年の記憶がひもとく知られざる日本  
～千年ロマン時空の旅～

# 豊の国千年ロマン観光圏整備計画



豊 の 国  
千年ロマン  
観 光 圏

大分県別府市、中津市、豊後高田市、杵築市  
宇佐市、国東市、姫島村、日出町

千年の記憶がひもとく知られざる日本 千年ロマン時空の旅  
**豊の国千年ロマン観光圏整備計画**

目次

- I. 基本的事項
  - (1) 観光圏の区域
  - (2) 滞在促進地区の区域
  - (3) 観光圏整備事業の実施体制
  - (4) 観光圏整備計画の目標
  - (5) 計画期間
  - (6) 住民その他利害関係者の意見を反映させるための措置及び反映内容
- II. 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する基本的な方針
- III. 観光圏整備事業の概要
- IV. 協議会に関する資料等
- V. その他市町村又は都道府県が必要と認める事項

## I. 基本的事項

### (1) 観光圏の区域

本計画においては、大分県北部地域の、別府市、中津市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、国東市、日出町、姫島村の6市1町1村を圏域とし、豊の国千年ロマン観光圏の形成を図る。

#### ①観光圏の概要

国際観光都市別府を擁する当地域は、瀬戸内海に面した大分県北部に位置し、低山地と丘陵が広がる内陸部と、波穏やかな海岸部により構成されており、四季の移ろいがはっきりと感じられる地域である。

地域全体としては、日本有数の温泉地である別府に加え、宇佐神宮の影響を受け国東半島で栄えた「六郷満山文化」など、神代から、古代、中世、近世、明治、大正、昭和と千年以上の時の流れを感じることができるほど歴史的な地域資源が豊富である。中でも、「宇佐神宮」、「富貴寺大堂」という2つの国宝をはじめ、数々の史跡など総体として魅力を発信する地域であり、誘客力を十分有しているといえる。

### (2) 滞在促進地区の区域

#### ①主たる滞在促進地区

##### ●別府地区

設定理由：別府地区は、年間800万人の観光客が訪れる日本を代表する温泉観光地であり、交通体系についても、市の中心部に位置するJR別府駅や、関西や四国からの玄関口である別府国際観光港を抱え、大分空港からのアクセスも良く、当圏域を周遊する旅の出発地点として最適である。

宿泊施設数：295軒

#### ②滞在促進地区・交流地区

##### ●神代の島 姫島（姫島村）

設定理由：神代の国生みの地である姫島では、大事に受け継がれてきた島ならではの郷土料理など、非日常の生活文化に触れることができる。

##### ●神代の杜 宇佐神宮（宇佐市）

設定理由：神仏習合発祥の地である宇佐では、大事に受け継がれてきた信仰の暮らしや食文化等に触れることができる。

## ●古代の山 六郷満山（国東市・豊後高田市）

設定理由：神仏習合の山岳仏教である「六郷満山文化」が花開いた国東半島では、神仏への祈りの心に触れることができる。

## ●中世の村 荘園の村（豊後高田市）

設定理由：1000年前の景観をそのまま残している「田染荘」では、大事に受け継がれてきた農業文化や農業技術等に触れることができる。

## ●近世の町 河の城下町（中津市）

設定理由：交易と情報を得るために川を中心に造られた「城下町中津」では、大事に受け継がれてきた生活文化や生活技術に触れることができる。

## ●近世の町 坂の城下町（杵築市）

設定理由：多くの武家屋敷や老舗の商店を有する「城下町杵築」では、大事に受け継がれてきた武家社会の情緒に触れることができる。

## ●近世の町 海の城下町（日出町）

設定理由：別府湾の風光明媚な景観を有する「城下町日出」では、大事に受け継がれてきた文化や海岸線の景観に触れることができる。

## ●近代の街 別府温泉（別府市）

設定理由：近代から続く共同湯が多く残る別府では、情緒漂う湯けむりの景観、近代遺産や近代の日本人の知恵や暮らしに触れることができる。

## ●近代の街 昭和の町（豊後高田市）

設定理由：昭和30年代の商店街の景観がそのまま残っている「昭和の町」では、大事に受け継がれてきた古き良き商人の心に触れることができる。

### （3）観光圏整備事業の実施体制

一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏が観光地域づくりプラットフォームとなり、関係8市町村や各観光協会等が連携して、マーケティング調査・分析、滞在プログラム造成、ワンストップ窓口づくりなどを企画・調整する。

観光地域づくりマネージャーは、十分な知識と実務経験を有し、観光庁の研修を受けた者を配置。官・民・地域の橋渡し役となる観光地域づくりマネージャーを中心に戦略策定、合意形成を行う。

行政は、各主体との連携促進、2次交通対策、景観整備等についてプラットフォームと連携しながら、効果的な観光地域づくりを推進する。

## (4) 観光圏整備計画の目標

### 数値目標

(上段：総数／中段：日本人／下段：外国人)

	単位	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
延べ宿泊者数	千人	3,427	3,488	3,550	3,612	3,674
		2,702	2,713	2,725	2,737	2,749
		725	775	825	875	925
旅行消費額 一人あたり	円	29,966	30,262	30,558	30,854	31,150
		29,966	30,262	30,558	30,854	31,150
		31,004	31,615	32,222	32,829	33,436
来訪者満足度 (大変満足の割合)	%	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0
		21.0	22.0	23.0	24.0	25.0
		15.7	16.7	17.7	18.7	19.7
一年以内の再来 訪意向 (大変そう思うの割合)	%	20.7	21.7	22.7	23.7	24.7
		20.7	21.7	22.7	23.7	24.7
		6.9	7.9	8.9	9.9	10.9
一年以内の再来 訪意向 (そう思う・計)	%	68.3	69.3	70.3	71.3	72.3
		68.3	69.3	70.3	71.3	72.3
		53.9	54.9	55.9	56.9	57.9
リピーター率	%	58.9	59.9	60.9	61.9	62.9
		58.9	59.9	60.9	61.9	62.9
		24.5	25.5	26.5	27.5	28.5

### 観光地域づくりマネージャーの育成等を通じた継続的・自律的な活動体制の確立等の目標

行政と民間、地域の橋渡し役となる観光地域づくりマネージャーは、各市町村に1名以上育成し、観光地域づくりマネージャーを中心に、民間主導での取り組みを持続的に行っていく。

## (5) 計画期間等

計画期間は、平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間とする。

計画の全期間を通じて毎年、来訪者満足度調査を実施しながら、計画の遂行状況や達成状況を測定する。

その結果をもとに、検証を行い、必要に応じて適宜計画の見直しを行い、事業に反映させる。

## (6) 住民その他利害関係者の意見を反映させるための措置

### 及び反映状況

本観光圏は、8市町村の観光まちづくりに関係する多種多様な主体（観光協会、宿泊施設、交通事業者、旅行会社）が地域住民の代表として観光地域づくりプラットフォームとなる一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏の構成員となっている。住民その他利害関係者の意見や圏域内のニーズ把握については、観光地域づくりマネージャーが橋渡し役となして担い、一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏の総会、理事会、幹事会、戦略会議、マネージャー会議等にてその意見を反映する場を設けている。

また、圏域内各市町村において、地域住民と本観光圏の方向性や、滞在プログラムの造成などについて検討するワークショップを開催した。

今後も、関係団体との意見交換を行い、住民その他利害関係者の意見を反映できる体制を運営していく。

## Ⅱ. 観光圏の整備による観光旅客の来訪及び滞在の促進に関する基本的な方針

### (1) 「豊の国千年ロマン観光圏」整備の必要性

東九州自動車道の開通は、九州東側が南北に結ばれるだけでなく、中四国・近畿との交流・連携をはじめとする地域産業の振興をはじめとした地域活性化に大きく寄与し、大分県北部地域に与える効果は多大なものとなっている。

この東九州自動車道を将来にわたって最大限に活用し、大分県北部地域の優位性を活かした新たな地域振興を図っていくためには、広域的な観光ルートの形成や飛行機、鉄道など多様な交通機関との連携などの幅広い取組である観光圏整備が必要不可欠である。

豊かな温泉と歴史文化、新鮮な食材、祭りなど、地域の秀でた資源を活用し、従来からの「個の努力」「個の磨き」に加え、地域全体としての総合力を高め、全国モデルとなりうる観光圏を形成するとともに、海外観光客（インバウンド）も含め別府などの温泉資源とともに国際競争力の高い観光地形成に取り組んでいく。

### (2) ブランドコンセプト

#### 「千年の記憶がひもとく知られざる日本」 ～千年ロマン時空の旅～

大分県北部地域にある8市町村に息づく神代・古代・中世・近世・近代の千年を超える歴史。現在の日本を形づくってきた歴史が記憶となってこの地に刻まれている。

この地の歴史の始まりとも言えるのが1300年前に宇佐神宮から生まれた「神仏習合文化」。神と仏が融合した世界に見ない信仰文化、これこそが日本人の「和の心」の

礎となったのではないだろうか。この神仏習合文化が、宇佐・国東半島に時を越えて今もなお残る「六郷満山文化」である。

宇佐神宮は九州の3分の1程の荘園を有していたが、その力は歴史と共に失われていった。そこから各地域は独自の発展を続け、中津・杵築・日出では独特な形態をした城下町が形成され、別府は世界的な温泉観光地となり賑わいをみせた。時は流れても六郷満山文化はお寺を中心として、地域の人々と共に今に受け継がれている。

豊の国千年ロマン観光圏は、知られざる日本の姿を体感できる場所。千年ロマン時空の旅でその歴史をひもといていく。風景や文化、地域の人々の生活、歴史を伝える神社仏閣、それぞれの体験や出会いはきっと忘れていた何かを見つけ出す、記憶に残る旅になるだろう…。

### (3) 基本方針

豊の国千年ロマン観光圏では、次の5つの方針を掲げる。

#### 基本方針

##### 方針1 歴史・温泉・食が三位一体となった滞在型観光の推進

観光客のニーズに対応するため、「歴史」「温泉」「食」などをキーワードに、さらなる観光資源の魅力づくりを行う。

滞在促進の重要な誘因である宿泊施設における「食」の充実を、地域の創意工夫、農業・漁業、関係事業者等の協働で図る。

##### 方針2 観光資源の魅力向上と再発見

現状の観光動向を中心としたマーケットも考慮した観光資源の見直しを図りながら、地域にふさわしい時代にマッチした新しい観光メニューを整備する。

##### 方針3 周遊促進のための仕組みづくり

観光客の交通の拠点となる空の玄関口「大分空港」、陸の玄関口「別府駅等JR特急停車駅」や「別府IC等高速道路IC」、そして海の玄関口「別府港」「竹田津港」を抱えていることから、移動の仕組みづくり（ソフト事業）と社会資本整備（ハード事業）の両面で地域、観光資源、交通拠点などが連携し、周遊を促進する。

##### 方針4 民間と連携した受け入れ体制の整備

滞在促進地区・交流促進地区・観光資源・交通拠点との「連携」、観光業だけでなく、農業、漁業、商工業などの業種・企業間の「連携」、産・学・官・民の「連携」、他の観光圏の「連携」、行政（市町村・都道府県・国）間における事業「連携」、そして海外との「連携」。さまざまな場面で想定される「連携」を積極的に促進・強化する。

また、ボランティア組織や観光関連事業者・団体、宿泊施設などと連携し、地域が主体となった人材育成、ホスピタリティ向上など受入体制の構築・充実を図る。

さらに、外国人を案内することができるガイド育成や、外国語に対応した案内板の設置、掲示方法の工夫など、インバウンド対策を推進する。

##### 方針5 国内はもとより海外を含めた、積極的な誘致活動

「豊かな歴史資源・自然資源」「豊富な食材」「時間のアドバンテージ」など、まだまだ認知されていない当圏域の魅力を、「別府」という知名度を活かし、国内はもとより海外まで、プロモーション活動や情報発信を行う。

### Ⅲ. 観光圏整備事業の概要

「豊の国千年ロマン観光圏」のブランドコンセプト、基本方針に基づき、「住んでよし、訪れてよし」の滞在交流型観光を目指す。

地域住民が主役となる滞在プログラムの造成の他、滞在促進地区・交流地区ごとに魅力の磨き上げ、主たる滞在促進地区から各滞在促進地区・交流地区をめぐる交通手段の整備などの周遊を促進する事業を行い、受入れ整備を行う。

ブランド戦略を策定し、ターゲットを明確にした上で効果的なプロモーションを行っていく。

#### (1) 宿泊サービスの改善及び向上

##### ○観光品質認証事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成31年度～平成35年度

事業概要：観光品質認証制度「サクラクオリティ」の普及。  
食、滞在コンテンツの品質認証制度の確立。

#### (2) 観光資源を活用したサービスの開発及び提供

##### ○滞在コンテンツ造成事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成31年度～平成35年度

事業概要：滞在コンテンツ、旅行商品の強化・拡大

##### ○広域ガイド育成事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成31年度～平成35年度

事業概要：圏域内を周遊できるガイドの育成。圏域内における通訳ガイドのネットワーク作り。

#### (3) 移動の利便性の向上

##### ○サイクルツーリズム事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成31年度～平成35年度

事業概要：圏域内の二次交通手段としてサイクルツーリズムの推進

#### (4) 情報提供の充実強化

##### ○全国観光圏推進協議会「Undiscovered Japan」情報発信事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成31年度～平成35年度



事業概要：全国 13 観光圏が連携したプロモーション。

○プロモーション推進事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成 31 年度～平成 35 年度

事業概要：国内外へのプロモーション・セールス。情報発信ツールの制作。

(5) 地域住民が一体となった観光地域づくりの推進

○地域活性化プロジェクト事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成 31 年度～平成 35 年度

事業概要：地域住民が一体となった観光地域づくりの推進

(6) その他

○全国観光圏推進協議会事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成 31 年度～平成 35 年度

事業概要：全国 13 観光圏での協議会運営。人材育成など

○全国観光圏共通マーケティング調査事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成 31 年度～平成 35 年度

事業概要：データ収集・分析。

○戦略策定事業

実施主体：（一社）豊の国千年ロマン観光圏

実施期間：平成 31 年度～平成 35 年度

事業概要：戦略策定（ターゲット、情報発信戦略、KPI 設定等）

## IV. 協議会に関する資料等

別紙

## V. その他市町村又は都道府県が必要と認める事項

観光圏整備計画は、「千年の記憶がひもとく知られざる日本・・・千年ロマン時空の旅」をブランドコンセプトに、圏域の地域資源が持つそれぞれの魅力を連携し、地域が一体となって取り組むものである。

当圏域内において別途計画されている社会資本整備事業との整合性を図り、相互に連携し、観光を軸とした地域づくりを推進することを目指す。

## **(1)観光資源としての魅力向上**

国東半島・宇佐地域の「世界農業遺産の認定」や、姫島の「日本ジオパーク」の認定、「別府湾岸・国東半島海への道」の日本風景街道の認定、中津・玖珠、国東市・豊後高田市の日本遺産の認定など、圏域内の観光資源の魅力向上に繋がる話題が続いており、それに伴い、県及び市町村としても、こうした契機を地域の活力向上に繋げるため、さまざまな関係する取組を進めているところである。また、こうした取組は、豊の国千年ロマン観光圏と連携することにより、一体的に広域的な観光振興に繋げるものとしている。

## **(2)圏域内の移動の利便性の向上・快適性**

### **①中津日田道路（地域高規格道路）の整備**

中津日田道路は、東九州自動車道や九州横断自動車道と連結することによりさらなる広域的な循環型ネットワークを形成することが可能になる地域高規格道路である。

中津日田道路が供用されると、東九州自動車道、九州横断自動車道の3つの軸によって、3ブロック（中津ブロック、日田ブロック、大分・別府部ブロック）が密に連携する一体性の高いトライアングル構造の圏域構造が実現することが期待されている。